



深谷市立深谷小学校
令和3年11月30日

今年もあと残り一ヶ月となりました。寒さが厳しくなり、新型コロナウイルスだけでなく、かぜやインフルエンザ、そしてノロウイルスの予防対策も必要になってきます。引き続き、外出後と食事前にせっけんを使った手洗いをしっかり行いましょう。病気のウイルスに負けないためには、栄養と休養をきちんととることも大事です。食事では栄養のバランスに気をつけ、とくにビタミンが豊富な野菜やくだものを毎日しっかりととりましょう。夜は早めに布団に入り、ぐっすり眠って体を休めましょう。

世界の食料事情と国連WFP

2020年のノーベル平和賞は、国連WFP（国際連合世界食糧計画）が受賞しました。国連WFPは1961年飢餓のない世界を目指して創設され、紛争地への食料供給や途上国の学校給食の提供などの活動を行い、地域社会と協力して栄養の改善と復興・回復に向けた強い社会づくりに取り組んでいます。

11人に1人が
飢えて苦しむ



©WFP/ Alaa Noman

世界の11人に1人が十分な食料を得られない状況で生活しています。最新の報告書では、新型コロナ禍や気候変動等の影響でさらに増加し、最大8億1100万人と推計されました。

写真の説明（左）2021年3月イエメン。WFPの食料支援前は毎日の食事の維持にとっても苦労していた。

（真ん中）2021年4月、ルワンダ。学校菜園でとれた新鮮な野菜を使った学校給食の様子。

2020年は新型コロナの影響でこの学校も一時閉鎖された。

（右から二番目）2017年3月バングラデシュ。3歳の息子を抱く25歳の母親。WFPの支援クリニックから補助食品を受け取る。

（右）2019年3月モザンビーク。陸路でアクセスできない村に到着したWFPヘリコプター。

深刻な
食品ロス

深谷小では給食を食べられる量に調整することで、残食がほとんどありません。全国的には学校給食の食品ロスも大きな問題となっています。

世界でつくられた食料の約1/3が失われ、むだになっています。世界の人口を養うのに十分な食料が生産されているにもかかわらず、8億人以上が毎晩空腹で眠りについていきます。



学校給食が子どもの
学びを支える



©WFP/ Emily Fredenberg

世界の数多くの子どもが毎日空腹のまま学校に通い、授業に集中できません。学校給食は栄養や健康状態を改善するだけでなく、子どもたちの学校での学びを支える大きな力になります。

私たちは
何をすればいい？

国連に長く勤めていた おしだりけんろうさんは次のように書いています。

「日本人たちに、もう少し世界の不平等について関心を持ってほしいという気持ちがある。知ってくれるだけでもいい。『どこか遠い国で起きている出来事で、私たちに関係ない』と思わずに、地球は、小さい星だ。その地球の同居人として、世界レベルの『思いやり』をもつことを考えてほしい」*

まずは知ること！
関心を持とう！

* 出典
忍足謙朗（2017）
国連で学んだ修羅場の
リーダーシップ文藝春秋

* ふかや園芸協会さんから 深谷市産「アレッタ」のプレゼント *

12月17日に
ふかや園芸協会の
みなさんからいただいた
深谷市産アレッタで
オイスターソース炒めを
作ります！



アレッタとは・・・ブロッコリーとケール（青汁の原料）を掛け合わせた日本生まれの野菜です。見た目はブロッコリーにそっくりで、茎も葉もつぼみもすべて食べられます。ケール特有の苦みはなく、茎の部分は甘味があります。カロテンが豊富で、抗酸化作用がとても高い野菜です。



災害・紛争時の
緊急支援



©WFP/ Rein Skullerud

紛争や大災害が起きたとき、まず必要となるのが食料です。国連WFPはいち早く被災地域に入り、人々に生き延びていくための食料を届けます。